

海外日本庭園再生プロジェクトの概要

背景と課題

- 海外における日本庭園は、日本の魅力を分かりやすく発信する重要なコンテンツの一つとして対日理解の促進とともに、インバウンド促進に貢献している。
- 海外では500箇所以上の日本庭園が存在するが、適切に維持管理がなされていないものがあり、その保全再生が大きな課題となっている。
- このため「海外日本庭園再生プロジェクト」により、国策上重要な日本庭園の修復、維持管理体制を構築する。

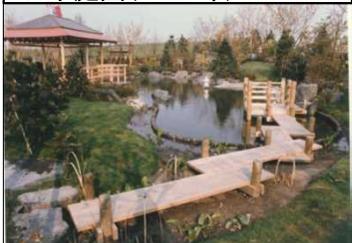
内容

修復・改修が必要な海外日本庭園の状況

- 在外公館への調査によれば、都心部や観光地に立地し、多くの利用が認められる日本庭園のうち、施設の経年変化や長年の植栽の放置による樹木の肥大化などにより、修復・改修や集中的な剪定・植替えなどが必要な庭園数は、約50件存在している。
- 求められている支援内容は、技術協力で足りるものから、資材や改修作業等に係る資金調達を必要とするもの等様々。

< 整備後に荒廃した日本庭園の例 >

イギリスリパプールに整備した日本庭園(1984年)



オランダハーレミアに整備した日本庭園(2002年)



海外における日本庭園保全再生方策検討調査(H29～)

日本庭園の修復に係るモデル事業の実施、外国人技術者でも庭園の維持管理を適切に行うことのできる分かりやすい維持管理マニュアルの整備等を通じ、海外における日本庭園の修復要望に応えていくための体制の構築を図る。

・修復のモデルとなる海外日本庭園を選定



・修復計画の作成・修復事業の実施(日本からの造園技術者の派遣等)



・マニュアルの整備等とあわせ、海外日本庭園修復支援体制を構築

平成29年度はアメリカ、ルーマニアの2箇所で行った
平成30年度はアメリカ(4箇所)、イギリス、チェコの6箇所で行った

平成31年度は、グラスルーツからの更なる日米関係強化の観点からアメリカを中心に8箇所の修復を実施予定

ルーマニア(ブカレスト市)日本庭園



修復前



H29.11 修復作業実施

アメリカ(カリフォルニア州)日本庭園



修復前



H30.1 修復作業実施

